歴史・文化を守り伝える

HISTORY

1 唐津出身の3巨匠の偉業に迫る建築展を開催！

辰野金吾が設計した東京駅

佐賀は日本の近代化やその後の発展において、政治、産業、医療など様々な分野で力を発揮してきました。その中でも、建築の分野で異才を放ち、日本をリードした「辰野金吾」「曽禰達蔵」「村野藤吾」の3人は唐津出身です。

今回、佐賀が誇るこの3人に光をあてた企画展「建築の建築」を佐賀県立博物館で開催します。作品や業績だけでなく、偉人たちの生涯や生まれ育った唐津に着目し、その源泉に迫る展示を行います。また、現代アーティストとコラボし、新たな切り口で建築の魅力を紹介します。

唐津出身の3巨匠が成した偉業と志を紐解き、体感できる展覧会に、ぜひご来館ください。

「建築の建築」展
令和4(2022)年9月6日(火)
～10月27日(木)

2 名護屋城跡・陣跡の魅力を発信

唐津市鎮西町・呼子町及び玄海町一帯に広がる「名護屋城跡並びに陣跡」は、豊臣秀吉や徳川家康など全国の名だたる約160もの武将が滞在した城郭の遺跡群です。当時の名護屋城は、能や茶道、和歌、華道、仮装などによる文化交流が盛んに行われた日本文化発展の「はじまりの地」です。

県では、「はじまりの名護屋城。」をコンセプトに名護屋城の魅力発信に取り組んでいます。全国でここでしかできない「黄金の茶室」での呈茶体験や名護屋城博物館での特別企画展、城跡・陣跡への周遊促進のためのサイン(案内表示)整備、木下延俊(秀吉の甥)陣跡の再整備のほか、城跡で茶会イベントを開催するなど、名護屋城跡・陣跡の価値と歴史資産の豊かさを発信していきます。

大茶会イベントの様子

黄金の茶室

お問い合せ先

❶【「建築の建築」展】 文化課 ☎0952-25-7236 ✉culture_art@pref.saga.lg.jp
❷【はじまりの名護屋城。】 文化課 ☎0952-25-7236 ✉culture_art@pref.saga.lg.jp
はじまりの名護屋城。 URL https://www.hajimari-nagoya.jp
名護屋城博物館 ☎0955-82-4906 ✉nagoyajouhakubutsukan@pref.saga.lg.jp
名護屋城博物館 URL https://saga-museum.jp/nagoya/

3 特別展「生誕200年 島義勇」を開催します

島義勇肖像写真　写真提供:佐賀城本丸歴史館

今年は北海道開拓に力を尽くした佐賀の偉人・島義勇の生誕200年に当たります。これを記念して佐賀城本丸歴史館では、島の功績や人物像に迫る特別展を開催します。

島は幕末の佐賀が生んだ逸材であり、明治という新たな時代の幕開けに多方面で活躍しました。青年時代の交友や蝦夷地※探検、戊辰戦争での活躍、北海道開拓、そして初代秋田県権令(現在の県知事)時代の業績などを様々な関連資料を通じて紹介します。

会期中には展示内容をより深く学べる記念講演会や歴史館ゼミナール、島とゆかりの深いアイヌ民族の文化に親しんでいただけるイベントを開催します。

※現在の北海道のこと

特別展「生誕200年 島義勇」
令和4(2022)年10月7日(金)
～12月11日(日)

4 大隈重信の志を未来に繋げる「高輪築堤」

明治5(1872)年、東京・新橋と横浜を結ぶ、日本初の鉄道が開業しました。そして、この大事業を成功に導いたのは、佐賀の偉人・大隈重信でした。

鉄道開業に向け、用地取得が難航した際、大隈が「陸がだめなら、陸蒸気を海に通せ」と命じ、遠浅の海に堤を築き、その上に線路を通して造られたのが「高輪築堤」です。

佐賀県立博物館の敷地内では、実際に築堤に用いられていた石を使い、遺構の一部を模して再現しています。博物館内では、築堤に用いられた石の展示と、迫力ある映像劇で鉄道開業を成し遂げた大隈のダイナミックな発想力や決断力を伝えています。

さらに、大隈重信記念館、早稲田佐賀中学校・高等学校の2ヵ所でも、実際に築堤に使われていた石を展示しています。

大隈の志を今に伝え、未来に繋いでいきます。

博物館内の展示

高輪築堤(再現展示)

リーフレット

お問い合せ先

❸【島義勇展】 佐賀城本丸歴史館 ☎0952-41-7550 ✉rekishikan@pref.saga.lg.jp
佐賀城本丸歴史館 URL https://saga-museum.jp/sagajou/
❹【高輪築堤】 文化課 ☎0952-25-7253 ✉culture_art@pref.saga.lg.jp
佐賀県 日本を拓いた鉄の道 高輪築堤 URL https:// www.pref.saga.lg.jp/chikutei/